

第4学年 総合的な学習の時間学習指導案

日 時 平成21年11月17日(火) 2校時
児 童 4年 男5名 女3名 計8名
場 所 4年教室
指導者 塚本 岳也

I 大単元の構想

1 大単元名 レッツ ボランティア

2 単元について

御返地地区には、特別養護老人ホーム「サントピア」がある。本校では、運動会や学習発表会に利用者の方を招待したり、敬老会で音楽の発表をしたり、アルミ缶を回収し車を贈り交流を図るなど、「サントピア」が身近なものになっている。

子どもたちにとっては、施設を利用する高齢者との交流については意欲的に取り組んでいるが、そこに働く方々や高齢者と働く方々との関係について更に学習を深めることによって、生き方や福祉に携わる仕事を学ぶことができると考える。

3 指導の構想

本単元では、単元の導入においてボランティアとは何か、自分が身近にできるボランティアとは何かを考えさせ、ボランティアは特別なものでなく身近なものであることを意識化させていく。また、ボランティア活動の実践の範囲を家庭・学校から地域へと広げていくことにした。

さらに、福祉ボランティアを更に意識させるため、サントピアの利用者や職員との交流、二戸市社会福祉協議会、キャリアサポーターから学ぶ機会を設けることによって、ボランティアに取り組んだり、福祉の仕事に携わったりする人々の願いや生き方にもふれさせ、働くことの大切さに気づかせたい。

4 単元総括目標

ボランティアについて自覚させ、興味・関心を持って活動することによって、ボランティア活動を身近なものに意識させ、実践意欲を高めさせる。活動の発表会をすることで振り返りを共有させ、次の学習につなげる。

5 大単元の構想

- | | | |
|-------|---------------------------------------|--------|
| 第1小単元 | ボランティアってどんなこと | (10時間) |
| 第2小単元 | キャップハンディ体験をしよう | (4時間) |
| 第3小単元 | サントピアの方々、障がいのある方と交流しよう | (22時間) |
| 第4小単元 | 学習のまとめ
「わたしたちにもできるボランティアをみんなに教えよう」 | (6時間) |

Ⅱ 第3小単元「サントピアの方々、障がいのある方と交流しよう」

1 単元について

(1) 教材について

本単元では、1学期のボランティアの学習をもとにサントピアで施設利用者や職員の方と交流することで考えを深めさせることをねらいとする。本単元では、お年寄りや障がいのある方と話をしたり、施設で働く方に話を聞いたりしながら、福祉の仕事に目を向けさせていきたい。

(2) 児童について

子どもたちは、低学年の時には、三世代交流収穫祭でお年寄りと昔遊びをした経験がある。また、老人クラブの方々とのふれ合い草取りや田植え、稲刈りなどを行う機会もある。家庭の中でも祖父母と同居している子どもが多く、昔の話を聞いたり、仕事を教えてもらったり、機能回復訓練のためにデイサービスに通う姿なども目にしている。ボランティア＝お年寄りの世話や障がいのある方の世話をすること、というイメージを身近に持つ環境の中で生活している。

4年生になって、全校や地域に働きかける活動として、アルミ缶回収やサントピアの方々との交流などのボランティアに取り組むことになり、意欲的にアルミ缶回収を呼びかけるビラ作りなどを行っていた。また、1学期には、学校のみんなの役に立つボランティアを考え、草取りやごみ拾い、窓ふきなどのボランティアを実践した。そして、キャップハンディ体験では、二戸市社会福祉協議会の方から高齢者の疑似体験、車いす体験を教えていただき、高齢者の立場になって見たり、聞いたり、歩いたりする学習をした。

(3) 指導にあたって

○ 指導観

4年生になるまでに子どもたちは、校庭の草取りやごみ拾い・石拾い、アルミ缶回収、地域の方々との田植え・稲刈りなどの活動を経験している。また、4年生は国語の「伝え合う」ということの学習で点字にもふれ、目の見えない方の立場で考える機会を持つ。

本単元ではサントピアでの学習を中心にし、利用者とのふれ合いやサントピアで働く方にも話を聞くことで視野を広げていきたいと考える。サントピアでは様々な人々が協力しながら働いていることにも気付かせ、お互いに支えあっていく力を育てたいと考える。さらに、自分にできることを考え、進んで行動していく力も育てていきたい。

○ キャリア教育に関して

サントピアで働く方や施設利用者とのふれ合いを通し、相手の話を聞いたり、自分の考えをしっかりと話したりできるようにさせたい。(コミュニケーション能力) また、サントピアで働く人の仕事を調べることで、福祉の仕事について学び、福祉に携わる方の喜びなどにも目を向けさせていきたい。(職業理解能力) 自分の持つ疑問の解決のためにしっかりと計画を立てさせ、自分なりの方法で追究させていきたい。(計画実行能力、課題解決能力)

2 小単元目標

- ・サントピアで働く方や施設利用者、聴覚障がいの方とふれ合うことができる。
- ・サントピアで働く人の仕事について調べることができる。
- ・学習したことをわかりやすく伝えることができる。

4	<p>サントピアで学んだことをまとめよう (4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 働いている人の仕事などで気づいたことや分かったことをまとめる。 	<p>○学習のまとめをすることができる。 ○学習したことをわかりやすく伝えることができる。 (課題解決能力)</p>
5	<p>聴覚障がいの方と交流しよう (2)</p> <ul style="list-style-type: none"> キャリアサポーターの田口庄司さんの友人の聴覚障がいの方と交流する。 	<p>○障がいを持つ方と交流することができる。 (コミュニケーション能力)</p>

5 本時の指導

(1) 本時の目標

- サントピアで働く人の仕事について、調べたことや分かったことを発表できる。
(コミュニケーション能力)
- サントピアで働く人の喜びや苦勞、願いに気付くことができる。
(職業理解能力)

(2) 本時の展開

段階	学習活動	指導上の留意点 (○評価)	準備
導入 5分	<p>1 前時の学習を想起する。</p> <p>2 本時の学習のめあてを確認する。</p> <p>サントピアで働いている人は、どんなことに気をつけて仕事をしているのだろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> サントピアで働く人について調べたことを確認する。 サントピアで働いている人の仕事について伝えることを確認する。 	写真
展開 33分	<p>3 サントピアで働く人の仕事について発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護職員の仕事について 生活相談員の仕事について 介護支援専門員の仕事について 看護職員の仕事について 事務員の仕事について <p>4 サントピアで働く職員の気持ちを考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 仕事をする上で気をつけていること、大変なことも発表させる。 ○自分が調べたことや分かったことを発表することができたか。 サントピア訪問で施設利用者と交流した体験を取り上げ、考えさせる。 ○サントピアで働く人の仕事の喜びや苦勞、願いに気付くことができたか。 	
終末 7分	<p>5 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 今日の授業で分かったこと、大切だと思ったことについてワークシートに書く。 <p>6 次時の活動を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 分かったこと、大切だと思ったことを発表させる。 本時を振り返り、次時の学習につなげさせたい。 	ワークシート

(3) 評価規準と具体の評価規準

学習活動における 評価規準	具体の評価規準		支援
	十分満足できる (A)	おおむね満足できる (B)	
調べたことや分かったことを発表できる。	<ul style="list-style-type: none"> 調べたことからわかったことや、自分の考えを分かりやすく発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 調べたことからわかったことや、自分の考えを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> サントピアで介護の体験をさせていただいたことを思い出させ、利用者の気持ちも考えさせ、自分の考えを深めさせる。
サントピアで働く人の仕事の苦労や喜び、願いに気付くことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えと友達のことを比べ、働く人々の違いや願いに気づき発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 働く人々の違いや願いに気づき発表する。 	